



ヤーマン株式会社
2014年4月期 中間報告書

YA-MAN REPORT

2013.5.1 - 2013.10.31

[証券コード : 6630]



株主の皆様には、平素より格別のご高配、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、ここに2014年4月期上期(2013年5月1日から2013年10月31日までの第2四半期累計期間)のYA-MAN REPORTをお届けし、当第2四半期連結累計期間の経営成績などについてご報告いたします。

代表取締役社長 山崎 貴三代

当上期の事業環境と業績について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融政策や成長戦略などを背景に輸出企業を中心に好調に推移するとともに、個人消費も底堅く推移したものの、欧州金融リスクの懸念や新興国の成長鈍化、円安による原材料費高騰もあって景気の回復にはまだまだ予断を許さない展開にあると言えます。

このような状況の下、当社グループでは、メディアで取り上げられることも増え、ますます活況を呈してきていると言える美容健康機器業界において、中長期的な成長のためにヤーマンブランドの浸透を重視した広告戦略を積極的に継続展開してまいりました。一方、大手家電量販店向け卸売事業においては、

ヤーマンブランドのアピールを強めるために代理店を経由しない直接取引形態への移行を前期より着手致しましたが、大口取引先との取引の切り替えが第3四半期以降となったことから、店販卸事業における売上高は減少する結果となりました。このような状況への対応として、直販事業において、広告効果を重視した利益重視政策に転換することにより、販売費及び一般管理費を削減しましたが、売上高の減少に伴う売上総利益の減少を補うには至らず、当第2四半期連結累計期間における売上高は7,380百万円(前年同期比21.2%減)、経常損失は221百万円(前年同期は465百万円の利益)、四半期純損失は140百万円(前年同期は282百万円の利益)となりました。

連結財務ハイライト

● 2014年4月期上期	(単位:百万円)	前年同期比
売上高	7,380	21.2%減
営業損失	245	-
経常損失	221	-
当期純損失	140	-

Financial Highlights

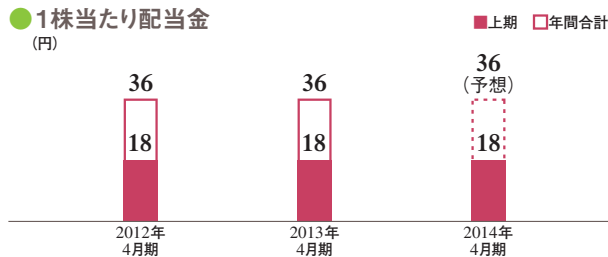
● 2014年4月期通期の見通し	(単位:百万円)	前期比
売上高	22,550	16.1%増
営業利益	900	29.5%増
経常利益	810	56.9%増
当期純利益	460	51.6%増

通期の見通しについて

通期連結業績予想については、2013年6月14日に公表した内容から変更はありませんが、事業の状況を見極めた上で、修正が必要と判断した場合には速やかに公表いたします。

株主様への利益還元について

中間配当につきましては、当初予想通り1株当たり18円とさせていただきます。また期末配当につきましても、1株当たり18円を予定しており、前期と同額とする方針です。これからも事業展開や内部留保を加味しつつ、株主の皆様への利益還元を意識した配当政策に努めてまいります。



株主優待

2013年7月26日の定時株主総会後に株主優待品の発送を行いました。

また、前年に引き続き定時株主総会終了後に当社商品の展示販売会を開催し、ご好評頂きました。お買い上げ頂きました皆様、ありがとうございました。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。



株主優待品
(100株以上500株未満)
オンリーミネラルセット



株主優待品
(500株以上1,000株未満)
EMSベルト「メタフリー」



株主優待品(1,000株以上)
美容スチーマー
「ホワイトミストプラス」

売上高構成比



通販部門

主に雑誌やテレビを利用して通信販売を行う事業者向け卸売事業

- 売上高 2,839百万円
- セグメント利益 962百万円

店販部門

主に家電量販店やバラエティショップ向け販売事業

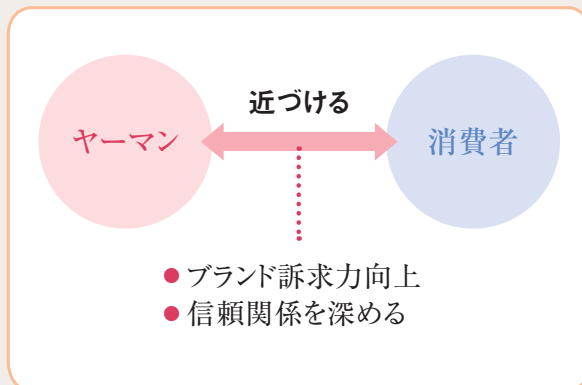
- 売上高 1,199百万円
- セグメント利益 288百万円

直販部門

インフォマーシャルや雑誌、新聞、Web等の媒体利用による個人向け直接販売事業

- 売上高 3,210百万円
- セグメント利益 159百万円

ブランディング強化



- 大手家電量販店との販売形態を直接取引へ移行
- インフォマーシャルだけでなく新聞や雑誌、地上波TVへの露出拡大、広告投資実行

四半期連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	当第2四半期 2013年10月31日現在	前期 2013年4月30日現在
資産の部		
流動資産	9,198	9,792
固定資産	955	969
有形固定資産	546	541
無形固定資産	282	307
投資その他の資産	126	120
資産合計	10,153	10,761
負債の部		
流動負債	2,525	3,855
固定負債	1,252	260
負債合計	3,777	4,116
純資産の部		
株主資本	6,373	6,618
資本金	1,813	1,813
資本剰余金	1,313	1,313
利益剰余金	3,245	3,491
自己株式	△0	△0
その他の包括利益累計額	2	26
その他有価証券評価差額金	2	2
繰延ヘッジ損益	—	24
純資産合計	6,375	6,645
負債純資産合計	10,153	10,761

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 自2013年5月1日 至2013年10月31日	前第2四半期 連結累計期間 自2012年5月1日 至2012年10月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△231	1,838
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43	△52
財務活動によるキャッシュ・フロー	965	△470
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額	691	1,314
現金及び現金同等物の期首残高	1,675	2,184
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,366	3,499

四半期連結損益計算書及び 四半期連結包括利益計算書 (単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 自2013年5月1日 至2013年10月31日	前第2四半期 連結累計期間 自2012年5月1日 至2012年10月31日
売上高	7,380	9,364
売上原価	2,937	3,579
売上総利益	4,442	5,785
返品調整引当金戻入額	183	155
返品調整引当金繰入額	106	137
差引売上総利益	4,519	5,803
販売費及び一般管理費	4,764	5,311
営業利益又は営業損失(△)	△245	492
営業外収益	42	4
営業外費用	18	31
経常利益又は経常損失(△)	△221	465
特別損失	1	5
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△223	460
法人税等	△82	177
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△140	282
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	△140	282
その他有価証券評価差額金	0	△0
繰延ヘッジ損益	△24	—
四半期包括利益	△164	282

売上高
直接取引形態への移行切り替
えなどの影響による

負債合計
新規資金調達による借入金の
増加

販売費及び一般管理費
広告効果を重視した利益重視
政策による費用節減効果

営業活動によるキャッシュ・フロー
四半期純損失の計上

財務活動によるキャッシュ・フロー
長期借入による収入

新製品・商品紹介 & トピックス

肌枯れレスキュー!でもっとモイストUP “めざす肌”に合わせて選びたい
 ヤーマン美顔器の新シリーズ登場!

顔全体を
うるおす



プラチナホワイトソニック

毛穴を
引き締める



うるおいHOT&COOL

ラジオ波で
ハリと弾力



新登場!
プラチナホワイトRF

新機能搭載で
パワーアップリニューアル!

顔全体をうるおす 超音波美顔器

- 人気の前機種が進化して登場。
- 42℃の温美容ができるチタンコートヘッドは目もとや小鼻にもフィットする回転式。
- イオン導出入に加え、超音波ソニックも搭載。

[42℃温冷]シリーズの最新機種!

毛穴を引き締める*

最新温冷美顔器(当社比)

- 蒸しタオルや氷水を使わずとも“温めて&冷やす”が一台でできる。
- 温めてから冷やすことで肌が引き締まり、働きも活性化。
- 化粧水に浸したコットンやシートマスクの上から使えるすぐれもの。

※ 温度により物理的に毛穴を引き締める

独自サークルRFテクノロジーで
温熱効果を発揮!

RF 深層温冷美容 ラジオ波でハリと弾力を!

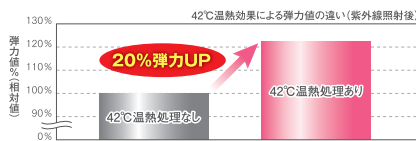
- 独自開発の技術“サークルRFテクノロジー”により、肌を深層部まで温めてハリに満ちたお肌に。
- その他機能も充実したフルスペック美顔器。

42℃ HSPとは?

42℃ HSPの温熱効果は**紫外線によるお肌のハリの下を抑える**等の研究効果が発表されています。42℃ HSPとは42℃の温熱をお肌へ効果的に伝える美容機能です。

42℃温熱の効果

▼ 下図 マウスの皮膚を37℃と42℃のお湯にそれぞれ5分間浸けた後に紫外線を照射するのを10週間続けた実験結果。



参考文献元: M.Mastuda et al. (2012) Suppression of UV-Induced Wrinkle Formation by Induction of HSP70 Expression in Mice, J Invest Dermatol 133:919-928

※慶應義塾大学薬学部水島研究室調べ



ヤーマンの42℃温冷美容は温度制御システムにより温度を一定に保ち、効率よくお肌に42℃温熱を伝えます。

42℃ HSP





『おもてなしエステ』開始

専門知識を持ったビューティアドバイザーによるカウンセリングと最新製品を使用したエステケアを無料で提供する「おもてなしエステ」サービスを、ヨドバシカメラ秋葉原店内専用スペースにて開始しました。

本サービスは、最新製品を購入前に自分の肌で試すことで製品の機能や使用感に納得してご購入いただくこと、製品知識・美容知識を兼ね備えたビューティアドバイザーがカウンセリングを行うことでさらなる美しさへと導くお手伝いをすることを目的としています。

イスに座って受けられるお気軽エステ

お肌の悩みやご要望を伺い、「毛穴」「うるおい」「クリア肌」「引き締め」の4コースから、おススメのお手入れをご提案します。



場 所：ヨドバシカメラ マルチメディア Akiba 3階理美容家電コーナー内
(東京都千代田区神田花岡町1-1)

香港大手百貨店に当社直営店がオープン

2013年11月7日、香港の美容専門デパート「Beauty Avenue」に美容家電専門店舗をオープンしました。



当デパート1階は欧米の化粧品ブランドで構成され、2階は日本やその他アジアの化粧品ブランドをメインに構成されています。



住 所：LANGHAM PLACE, 8 ARGYLE STREET, MONGKOK
店内ブース位置：SHOP NO. BA201, Level 2, Beauty Avenue
営 業 時 間：年中無休(百貨店スケジュールによる) 11:00 - 23:00
Beauty Avenue : <http://www.beautyavenue.com.hk/en/homepage.html>

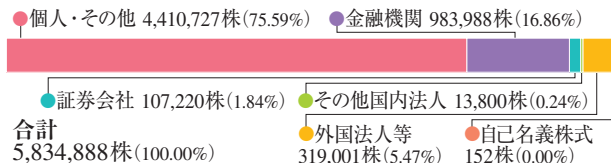
会社概要 (2013年10月31日現在)

商号	ヤーマン株式会社
設立	1978年(昭和53年)5月27日
資本金	1,813百万円
従業員	137名
事業内容	美容健康関連機器及び化粧品の研究開発・製造・販売、バラエティ雑貨等の仕入販売

株式の状況 (2013年10月31日現在)

発行可能株式総数	19,555,552株
発行済株式総数	5,834,888株
株主数	7,698名
単元株式数	100株

所有者別分布状況



大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
山崎 行輝	888,960	15.24
株式会社日本政策投資銀行	775,088	13.28
山崎 貴三代	620,460	10.63
山崎 静子	595,440	10.20
山崎 光英	245,360	4.21
Victoria Yamazaki	208,000	3.56
山崎 知美	208,000	3.56
山崎 岩男	147,360	2.53
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	142,300	2.44
松本 行雄	107,960	1.85

役員一覧 (2013年10月31日現在)

代表取締役社長	山崎 貴三代	常勤監査役	岩崎 榮治
取締役副社長	伊藤 千保美	監査役	山田 勝利
取締役	山崎 岩男	監査役	亀岡 義一
取締役	高橋 満		
取締役	宮崎 昌也		
取締役	戸田 正太		

株主メモ

事業年度 毎年5月1日から翌年4月30日まで

定時株主総会 毎年7月

基準日
 定時株主総会 4月30日
 期末配当金 4月30日
 中間配当金 10月31日

公告方法 電子公告。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載。

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

■住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

■未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。